

厚生文教常任委員会 視察報告書

1. 視察日程 令和元年10月9日(水)～11日(金)
2. 視察場所 栃木県日光市 日光市役所
栃木県大田原市 大田原市役所(トコトコ大田原)
3. 視察参加者 杵築市議会厚生文教常任委員会
委員長 阿部 素也 副委員長 泥谷 修
委員 真砂 矩男 藤本 治郎 坂本 哲知
随行職員
議会事務局 主査 加藤 沙江
4. 視察事項

① 栃木県日光市

【視察の目的】 地域医療連携推進法人について

【視察日時】 10月9日(水) 14時30分～16時

【視察先対応者】 日光市議会議長 斎藤 信幸
日光市健康福祉部 健康課 課長 大久保 義文
日光市議会事務局 副主幹 早川 貴士
地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネット
事務局次長 金子 憲一

【視察内容】

最初に日光市の概要について説明を受ける。平成18年に旧今市市、旧日光市、旧藤原町、旧足尾町、旧栗山村の2市2町1村が合併してできたものであること。面積は1千449平方キロメートルあまりで栃木県内では最大の面積である。栃木県の面積の約1/4であり全国で3番目の広さである。人口は83,386人(平成27年国勢調査)で、合併時には約96千人ほどであったとのことであった。

人口動態における日光市の課題として、2015年から2045年にかけての動態資料に基づき説明があった。その内容は、総人口は76,970人から45,437人へ45.5%の減となる。65歳以上高齢化率は32.5%から49.8%、75歳以上については16.5%から32.1%、また15歳未満人口については8,794人から3,420人へ61.1%減にもなるというものであった。総人口と高齢化率については、人口5万人以上の規模のまちでは他を圧倒するものであるとのことであった。

市内の医療機関の状況については、獨協医大の日光医療センター(199床)、

足尾銅山関連の労災病院を源とする足尾双愛病院（84床）の他、今市病院（129床）など13の医療機関が存在し、計987床を抱えているとのことであり、栃木県の枠組みによる同じ医療圏に属する隣接の鹿沼市を合わせると1,370床を有するということであった。

地域医療連携推進法人について、なぜそのような法人設立を検討したのかについては、そのきっかけとして前段の鹿沼市との医療圏での県の示す適正な病床数が現状の1,370床に対して604床であるという、過剰とみなされた病床数の調整が当初の大きな要因であるということであった。

法人設立の協議については、平成30年1月の第一回目の勉強会から始まり、翌31年2月5日に法人設立案のとりまとめまで計6回（別途部会・実務者協議会を開催）行われた。同月19日に設立時社員総会、同27日に正式に一般社団法人日光ヘルスケアネットとして設立に至ったということで、一年と3か月という期間の協議であった。当初は各医療機関の院長などのトップレベルで行われたが、総論賛成各論反対の様相で突っ込んだ議論には至らなかったとのことであったが、その後実務者（事務長）レベルでの協議に切り替えたことにより内容について具体的な進展が見られたということであった。

その設立の本来の目的についての協議が行われたものであるが、その内容については、日光地域の抱える課題として急激な人口減少と少子高齢化。そして医療機関が抱える課題として、各個の医療機関では対応できない医療需要の変化、それに対応する急性期、回復期、慢性期医療の役割分担の必要性、医療従事者確保の取り組みの必要性、これまで行われてこなかった地域の医療機関同士の話し合い場の必要性、そして経営効率化の取り組みの必要性などが挙げられる。これら地域の課題とそれを背景とした医療機関の課題を合わせて解決するための取り組みとして、①恒常的な話し合いの場の設定および同等な立場での意思決定、②現在の診療体制をできる限り維持するための患者紹介、逆紹介、③職員派遣等による医療従事者不足への対応、④連携して事業を行うことによる費用負担の軽減などへ取り組むことが挙げられた。また、それに伴う施策として①患者情報の共有化として『地域医療連携クリティカルパスの導入・拡充』、②病床利用状況の集約化として『病院横断的入退院調整機能の整備』、③医療機能分化・連携に対する医療従事者・市民（患者）の理解促進として『普及啓発の実施』、④地域の病院。診療所に対する支援の強化として『地域の病院、診療所を支援できる医療機能の整備』の4つの重点事業が定められたというものであった。

設立時の組織構成としては、民間の医療法人、学校法人（大学病院）、個人開業医、日光市など合わせて11の法人社員で構成され事務局は日光市が担い、監査（監事）に栃木県をおくというものであった。また代表理事としては日光市の副市長、事務局は2名体制とのこと。また、入会金は5万円、年会費は14万円

であるということであった。

現状あるいは今後の課題として、医師の確保については独協医大からと自治医大からの派遣が主であるとのこと、また市立の診療所として奥日光や急患こども診療所など7つがあるが、広大な面積を抱える本市においては僻地医療の在り方についても今後の課題とされている。運営においては月に一回のペースで事務長会議を開催されているとのこと。また平成31年度の事業計画として7つの項目を挙げているが、医療機器の共同利用については力を入れているとのことであった。

【所感】

全体の印象として、この地域医療連携法人は現段階においてよい方向に向かっているように感じた。設立されてからは、まだ一年もたない時期での視察でもあり、当然計量的な成果を出すというところには至っていないと思われるが、なによりも説明の中で、『市内の医療機関すべてが集っての恒常的な話し合いの枠組み』ができたことが大きな成果であると強調されていた。杵築市においては大分県の東部医療圏調整会議などに参加しているようだが、杵築市として市内の医療機関が集まってのそのような機会があるのか、あるいはその必要はないのかが大いに気になる場所であり、今後調査の必要もあると思われる。また、設立まで1年と3か月の協議期間ということであったが、そのスピード感に驚かされた。当初トップレベルでは、なかなか進まなかった議論を実務者(事務長)レベルに切り替えたところ、進展が見られたとのことであり、ここに鍵があるものと思われる。



② 栃木県大田原市

【視察テーマ】 子育て支援施設について（トコトコ大田原）

【日 時】 10月10日（木）13時30分～15時

【訪問先】 栃木県大田原市本町1-4-1 大田原市役所
栃木県大田原市中央1-3-15 トコトコ大田原

【対応者】 大田原市保健福祉部 保育課長 遅沢 典子
(株)大田原まちづくりカンパニー

管理課長 秋元 直人

子ども未来館長 渡邊 小百合

【背景】

過疎・高齢化により中心市街地の空洞化が進んだ。市街地再開発計画に基づき核となる商業施設の整備を行う。「トコトコ大田原」は、まちなかでの子育て世代を支援する施策をメインとして再開発ビルの2階～3階を利用している。

大田原市長の「すべては子どもたちの未来のために」という強い思いから始まった。

【視察内容】

総事業費 約61億円で中心市街地に再開発ビルとして地上7階建て鉄筋コンクリート造、延床面積9,838.68㎡で平成25年10月にオープンされた。「トコトコ大田原」のコンセプトである「まちなかでの子育て世代の社会活動を支援する」目的を踏まえて、子育て世代を支援する施設やサービスを提供することにより、親子のふれあい創出、子育ての負担の軽減と子育て環境の充実、子育て世代の文化活動や購買活動等の促進を図るための施設である。

「あそび」の中から年齢にあった体力・知識・経験を養い、また子どもたちを見守る保護者たち温かい見守りが、その子育て世代の時間の共有となり、地域住民との交流・相談・悩みなどの意見交換の場として子育て共有スペースとして、子育て世代や子どもたちがにぎわうことで中心街地の活性化と一体化が図れる施設である。

【所見】

今回の「トコトコ大田原」の視察では、市長の強い思い「すべては子どもたちの未来のために」が感じられた。

大田原市の中心市街地にあり、1階がショッピングモール、2～4階が公共施設で4階が図書館、5～7階が住宅の用途で構成されている。「トコトコ大田原」という名前は公募により決定した。「とことこ歩いていける魅力的なところ」というコンセプトがある。

1～3 階は、(株) 大田原まちづくりカンパニーが運営を行っている。(株) 大田原まちづくりカンパニーとは、資本金 1 億円 (市の出資額 3,100 万で 31%、商工会 31%、金融機関 16.9%、市民・法人等 18%、市外者 3.1%) となっている。市からの管理費、業務委託料などで運営している。

2～3 階の子ども未来館では、無料の大規模屋内遊戯施設「わくわくらんど」には、大型ジャングルジムやすべり台があり「あそび」の中から経験を積み、そして発想の転換や応用力、また創造性を養うことや親子交流や子育て世代間交流を図っている。また、社会的遊び (ごっこ遊び) の代表である「おままごと」をイメージしたキッズタウンを構築し、子どもたちが様々な店舗の店主になりきり大人の社会システム「ビジネス」を模擬体験できる。

この施設は、屋内なので雨が降っても安心して親子で遊べる、素晴らしい施設である。入場者数は平成 30 年度実績で前年同様の 17 万人となっている。

杵築市においても、人が住みたくなるような街づくりが必要ではないだろうか。子どもたちへの未来を考える参考になった。

